

【実施報告】地域コミュニティを考える出前講座 in 東和地域

令和7年度小さな拠点・地域運営組織形成支援事業
持続可能な地域コミュニティ共創カレッジ

地域コミュニティを考える 出前講座 in 東和地域

人口減少・少子高齢化の進展により、地域の役員の成り手不足、高齢者の移動の問題、自治会の運営など、地域には様々な課題が現れてきています。
この催しは、地域コミュニティを持続可能なものにするために取組を進めている、様々な地区の事例を学べる出前講座です。
これからの地域の活動に活かせるヒントがたくさんあります。ぜひご参加ください。

日時 9月20日(土)
18:30~20:30 (開場18:00)

場所 東和文化センター
2階研修室

対象 ①地域活動に取り組む住民の方
②行政長官
③集落支援員 など
定員：50名

プログラム

- ①県の取組説明
福島県の施策を説明します。
- ②小さな拠点・地域運営組織の取組事例紹介
地域運営組織・小さな拠点の意義や、取組事例等を紹介します。
- ③東和地域の地域づくりの取組発表
各地域の地域づくり団体による取組内容を発表いただきます。
- ④意見交換タイム
参加者同士で感想やアイデアを共有しましょう。

事例発表団体

- ☆NPO法人ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会
- ☆針道地区団体長連絡協議会
- ☆こはた夢クラブ
- ☆太田の里地域づくり協議会
- ☆戸沢地域振興協議会

東和地域の地域づくり活動の今が分かる！

お申し込み

右の二次元コードよりお申し込みいただくか、以下までお電話、FAX、メールでお申し込みください。(お名前、ご住所、電話番号をお伝えください。)

東和支所地域振興課 電話 0243-66-2490 FAX 0243-46-4122
電子メール tow.chiikishinko@city.nihonmatsu.lg.jp

※持続可能な地域コミュニティ共創カレッジ：小さな拠点・RMOづくりに必要なスキルを実践的に学ぶほか、同じ思いを持つ仲間との交流などを通して、持続可能な地域コミュニティの共創を目指す事業です。

令和7年度小さな拠点・地域運営組織形成支援事業
主催：福島県企画調整部地域振興課 共催：二本松市
運営・お問い合わせ先：みらいくる「持続可能な地域コミュニティ共創カレッジ」事務局
staff@miraikuru.org

作成：令和7年8月19日

開催概要・プログラム

日時：令和7年9月20日(土) 18:30~20:30

会場：東和文化センター 2階研修室

定員：50名 参加者：42名

対象：地域活動に取り組む住民、行政区長、集落支援員 など

主催：福島県企画調整部地域振興課 共催：二本松市

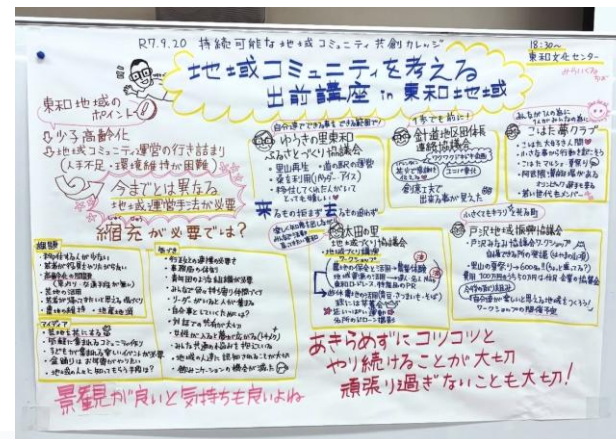
県の取組説明

小さな拠点・地域運営組織の取組事例紹介

東和地域の地域づくりの取組発表

意見交換タイム

当日の様子



参加者の声～アンケート・感想より～

満足度・主な意見

アンケート満足度：非常に高い評価

事例紹介が分かりやすく参考になった
対話の場（ワークショップ、企画会）の重要性を実感した
「夢を語る」ことから始める大切さを学んだ
女性や若者を巻き込む仕組みづくりが必要だと感じた

特徴的な気づき

小さくスタートし、具体的なゴール設定を行うことが重要
継続可能性を確保するため、評価やフィードバックの仕組みが鍵
地域間連携やイベントを通じた情報発信の強化が必要

地域の課題（感想・課題共有シートより）

人口減少・高齢化による地域活動の担い手不足
若者の参加低迷、女性の声が届きにくい環境
空き家の増加や耕作放棄地、高齢者の移動手段（足）の不足
地域内に蔓延する「諦めムード」からの脱却

今後のアイデア（参加者提案）

定期的な世代間対話やワークショップの開催
気軽な集いの場（カフェ、サロン、「たまり場」）づくり
空き家リノベーション（多世代カフェ等）や景観作物の活用
地元人材マップ作成や「助っ人バンク」の創設によるマッチング
地域全体のネットワーク強化と事務局体制の整備

成果と話合いのポイント（二本松市東和地域）

主な成果・気づき

危機感の共有と行動意欲の喚起

「他団体の危機感ある行動に共感」「自分も動き出したい」
同じ東和地域内でも、それぞれの地区状況の共有がなされたことで、共感を覚えたり、取り入れたいという意見が多数あった。

話し合いの場（ワークショップ等）の重要性の認識

「夢を語ることの大切さ」「若い世代・女性の参画が重要」
地域を担う多様な世代のメンバーが、対話をしながら活動に繋げている事例から、重要性を認識する意見があった。

具体的なアイデアの創出

空き家カフェ、景観作物（花壇）、ボランティア輸送など

話合いのポイントと今後の課題

人口減少を前提とした「縮充」の意識醸成

小さく始めてトライ＆エラーを許容する風土づくり

地区・団体間の連携ネットワーク構築（東和全域）

事務局体制の強化と「頑張りすぎない」仕組み

外部人材（大学生、地域おこし協力隊等）との積極的連携